

皆さんのご意見は、予算の審査や市政運営に活用

第
28
回

議員と語るかい

11月6日～9日に市内7会場で開催しました。



色々な意見が出て勉強になった。
(下井、湊地区 70歳代 男性)



市民の意見に耳を傾けて現場の状況を実際に確認してほしい。(松木地区 60歳代 女性)



意見交換が直接できるとわかりやすい。
(広瀬地区 40歳代 女性)



市政を変えていく委員会の政策提言を。(国分東地区 60歳代 男性)



開会前の現地調査



永水地区



日当山地区



参加者の声



活発な議論で市政を開かれたものにしてください。(永水地区 60歳代 男性)



行政に対してチェック機能だけでなく市民と共に意見を言えるようなシステム作りをしてほしい。(富隈地区 60歳代 女性)

参加者と議員の問題意識が高く活発な会議だった。
(日当山地区 60歳代 女性)

※各会場で出された意見等については報告書をご覧下さい。
報告書は、霧島市ホームページで確認いただけます。



陳情審査報告

陳情書1件について、本会議での審議結果を掲載しています。
審議された結果は、提出者へ通知いたします。

陳情 第5号	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する陳情 (H30.11.27受理)	霧島市社会保障推進協議会 会長 原口 兼明	なし 不採択
75歳以上の医療費の窓口負担を2割にしないよう、国に対して意見書を提出していただくこと。			

議会運営委員会 行政視察報告

行政視察とは、他の自治体の先進的な取り組みの地域を訪れ、行政や経済、文化の実情・事例を調査することです。

議会運営委員会

◎阿多 己清 ○有村 隆志 平原 志保 木野田 誠 仮屋 国治
松元 深 新橋 実 植山 利博 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

先進市議会の議会運営や議会改革などの取り組みについて、行政視察を行いました。

◎11月13日 愛知県知立市

▼インターネットなどの会議の動画配信や議会報告会の実施のほか、議員政治倫理条例の制定、子ども向け市議会ガイドの作成、傍聴者の年齢制限の撤廃などの取り組みが行われていました。さらに議会の議決すべき事件では、16もの計画を指定しています。予算編成時の全会派一致の政策提言等を含め、「市民に開かれた議会」、「議員が議論する議会」、「議員が行動する議会」の3つの柱の実現に向けた議会活動が行われていると感じました。



◎11月14日 滋賀県彦根市

▼議会関係の視察では、特別委員会の委員を割り振り、その都度視察対応プロジェクトチームを編成し、議員だけで対応しているとのことでした。法外の委員会として、議場開放促進委員会を設置し、議場コンサートなどの企画、開催をされていました。議会を身近に、いろいろと議会を知ってもらう取り組みになっていると思いました。政務活動費については、基準や留意点など、細かく定めて取り組んでおられました。今後参考にしていきたいと思います。



◎11月15日 岐阜県可児市

▼日経グローカルで議会活動度全国10位と評価されているだけあって、名実ともに、素晴らしい多種多様な議会改革、議会活性化への取り組みがなされていました。議員自らで市民アンケートも実施しています。決算審査は常任委員会単位の分科会方式で審査し、最終的には10項目程度の提言書を市長に報告。予算の審査に当たっては、決算での議会提言をどのように反映したかの説明を受ける仕組み。この予算決算審査サイクルについては、有意義に感じました。



3市の視察を通じて学んだことを今後の議会改革に活かしていきたいと思います。